

家保通信

Vol. 37 No. 10 2月号
東京都家畜保健衛生所



令和6年1月30日

かほクイズ

BSEの病原体である異常プリオンとは何でしょうか？

- ①ウイルス
- ②細菌
- ③たんぱく質

答えは裏面

高病原性鳥インフルエンザの発生が続いています！

令和6年1月1日に群馬県高山村で5例目（36万羽）、1月5日に岐阜県山県市で6例目（5万羽）、1月27日に山口県防府市で7例目（23羽）の高病原性鳥インフルエンザが発生しました。野鳥等では、全国各地で94例の感染が確認されており、鹿児島県出水市では、オオクロバエからウイルスが検出されました。ハエ類が農場内へウイルスを運ぶ可能性も否定できないため、ハエ対策を実施しましょう。東京都農林総合研究センターのHPに「牛舎でのハエ幼虫生息場所と防除の考え方」の動画が掲載（以下URL）されています。鶏糞はハエの幼虫の生息場所となるため、溜めずに定期的に処理しましょう。牛舎での対策の動画ですが、是非参考にしてください。

○オオクロバエの特徴

- ・体長10～15mm
- ・発生時期は晩秋と初春（比較的寒い時期）
- ・1日当たり1.2～1.8km飛翔する
- ・動物の死体や糞を好む



画像引用：国立感染症研究所HP

「牛舎でのハエ幼虫生息場所と防除の考え方」

<https://www.youtube.com/watch?v=uaRHgFnr6C8>



韓国でアフリカ豚熱（ASF）が続発しています！

令和6年1月14日に、韓国の釜山広域市で捕獲された野生イノシシにおいて、アフリカ豚熱の感染が確認されました。当該野生イノシシの捕獲地点は日本への航路があるフェリーのふ頭とも距離が近いことから、地理的に近い我が国への本病の侵入リスクが極めて高い状況にあると考えられます。以下の対策の実施をお願いします。



①畜産関係者については、韓国への不要不急の渡航を自粛する。また、やむを得ず渡航する場合には、農場への立入りや家畜との接触を避けるとともに、帰国時には衣服や靴の消毒等適切な防疫措置を行う。

②外国人従業員を受け入れている畜産関係者等においては、日本への持込みが禁止されている肉製品等が母国を含む海外からの携帯品や国際郵便物等によって持ち込まれることのないよう、外国人従業員等への周知を徹底する。

③飼養衛生管理基準の遵守及び家畜の健康観察を毎日入念に行い、異状が見られた場合はすぐに家保に通報する。

